

17th Stage 2023

もりメイトキッズ

森が育む、未来の力 森づくり活動体験を通して、豊かな心を育てていきましょう

キッズテーマズ (もり) いきものハーモニー

森に住む動植物と人が共存するために大切なことを
自然体験活動を通じて一緒に考えてみませんか

第1回 4月16日(日) 第2回 7月30日(日) 第3回 11月5日(日)

今年度より森の環境によりアツクツムと取り組んでいます

【参加費】 本館見学のみ参加：小学生以上家族 参加人数：キッズ30名
 【時 間】 受付時：30 活動時間：12:00～15:00
 【場 所】 大分県立自然史・文化資料館 森の環境館 1階ホール
 【観覧料】 観覧料は無料。駐車場から会場まで徒歩約15分です
 【加 料】 専用 小学生以上 1,500円 未就学児 (4～6歳) 800円
 参加費は別紙を参照してください。*本館見学は無料です
 【注 意】 1. 雨天は中止。お天気の都合により中止となる場合があります。
 2. 参加者の年齢・性別・体調・住所、メールアドレスを
 事前にお知らせください。また、アレルギーのある方は、
 事前にお知らせください。アレルギーのある方は、
 事前にお知らせください。

NPO法人 自然環境教育推進協会

第2回 もりメイトキッズ開催 7月30日(日曜日)

in 大竹市松が原キッズフィールド

キッズ参加: 34名《子供12名 未就学児6名 保護者16名》
 スタッフ: 16名 大学生ボランティア3名 学生引率者1名

■午前中のプログラムは、昆虫観察を行いました。講師は、旧松ヶ原小学校の最後の校長であり、昆虫にとってもお詳しい池上先生。快く引き受けてくださいました。この日は、みんなが大好きなカブトムシやクワガタには会えませんでした。珍しいアカガエルを見つけたり、チョウやトンボ、色々な幼虫などを観察する事ができました。これからも、虫たちの棲みかにふさわしい、より多くの生き物が暮らせる環境を目指して、もりメイトキッズとスタッフ共々、少しずつ森の整備を続けていきたいと思っています。

フを担って下さる北田夫妻を中心に作られたとっても美味しいランチを頂き、みんな大満足。食べた後はブランコやターザンロープ、シーソーのある森の中で思う存分遊びました。

■午後からは、木工クラフト。昆虫をモチーフに、小枝を駆使したモビールを製作しました。カブトムシやトンボ、セミなど、こちらが参考にしたくなるほどの想像力が発揮され、ステキな作品の数々が出来上がりました。

子ども達、学生ボランティア、スタッフみんなが協力し、暑さも何のその、ケガなく無事プログラムを終えることが出来て良かったです。ご協力ありがとうございました。

《環境教育部会長 佐々木綾子》

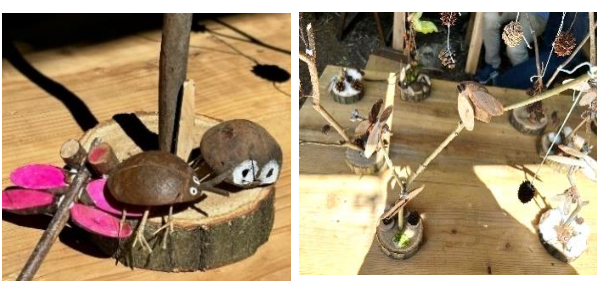
■真夏に開催した第2回のもりメイトキッズ。目を輝かせ嬉々とした子ども達の姿に、スタッフも元気をもらいスタートを切りました。
 緑茂る木陰の中とはいえ、今年の夏はすこぶる熱く、こまめな水分補給と休憩等で、暑さ対策には十二分に配慮して臨みました。



朝のオリエンテーション(上)と、木工クラフト作品



右上左は池上先生。子ども達の真剣なまなざしも！植物観察の様子。



～幼児組プログラム～ 昆虫観察を終え、小学生が池上先生から昆虫の話しを聴いている間、幼児組は、子ども向けSDGsのカード(日本シェアリングネイチャー発行)を使って、生き物のカルタ遊びを楽しみました。スタッフが交代でカードを読み上げると「ハイ！」とカードをタッチ。これらのカードは小さなお友だちが、生き物への興味や関心が育まれるように工夫されています。これからも色々遊びを通して、楽しみながら自然に触れていきたいと思っています。



～スタッフ薫ちゃんからの一言～ 『暑さの中、無事に終わられたこと良かったです。とても楽しい幸せな時間でした。『口福』なランチと皆さんの笑顔が元気の源です。季節ごとの自然の恵みをふんだんに使って料理して下さり、自然いっぱいの中で仲間の笑顔も副菜になり『口福！』本当にいつも感謝です。』